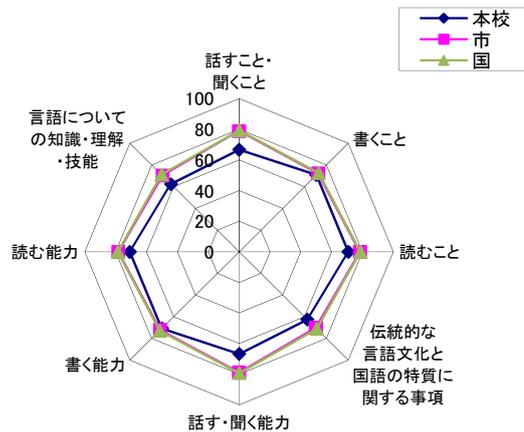


宇都宮市立海道小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

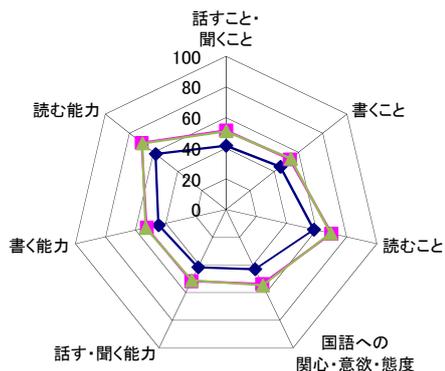
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	66.7	78.8	79.2
	書くこと	70.8	72.4	72.8
	読むこと	70.8	78.3	78.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	62.5	70.3	71.1
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	66.7	78.8	79.2
	書く能力	70.8	72.4	72.8
	読む能力	70.8	78.3	78.5
	言語についての知識・理解・技能	62.5	70.3	71.1



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	41.7	51.7	51.1
	書くこと	44.9	52.7	53.4
	読むこと	58.3	69.9	69.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	43.1	53.8	54.7
	話す・聞く能力	41.7	51.7	51.1
	書く能力	44.9	52.7	53.4
	読む能力	58.3	69.9	69.3
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は、国語Aが66.7%で全国と比べて12.5ポイント下回る。国語Bは41.7%で全国と比べて9.4ポイント下回る。</p> <p>● 話し合いの進め方やインタビューの仕方を身に付けることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い学習を行う中で、「今、何をどのように話し合っているのか」を確認し、説明させる指導を行う。 インタビュー等を行う際、中心になる質問の内容や相手の反応、追加質問等を考えさせてから、実施する指導を行う。
書くこと	<p>平均正答率は、国語Aが70.8%で全国と比べて2.0ポイント下回る。国語Bは44.9%で全国と比べて8.5ポイント下回る。</p> <p>● 条件を満たして書くことや考えの根拠となる理由を書くことに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業で、「文字数」や「書き入れる言葉」等の条件に基づいて考えを書く練習を積むことで、書く力を伸ばす。 授業で取り上げる表やグラフから読み取ったことやわかかったことを書く練習を行う。
読むこと	<p>平均正答率は、国語Aが70.8%で全国と比べて7.7ポイント下回る。国語Bは58.3%で全国と比べて11.0ポイント下回る。</p> <p>● 示されていることを手掛かりにして読み取ることに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何を求めているのかをしっかりとつかませてから問題に取り組みさせる練習を授業で行う。 書かれていることを大切に扱う習慣を物語文や説明文の読み取りの授業の中で身に付けるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は、62.5%で全国と比べて8.6ポイント下回る。</p> <p>● 漢字の読み書き、ローマ字の読み書きに課題が見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の学習の時間に漢字のステップアップテストや下の学年の問題のミニテストを繰り返し行い、習熟を図っていく。 ローマ字を使った掲示物作りを行ったり、パソコンを活用してローマ字に馴染ませたりしてローマ字の正しい読み書きを身に付けるようにする。